

太田一高資料館(旧茨城県立太田中学校講堂)の一般公開

毎年恒例の太田一高資料館一般公開の時期になりました。
本校資料館の見所は次の3点です。

1 完成から122年を迎える国指定重要文化財

- ・東京駅丸ノ内駅舎を設計した辰野金吾たつのきんごの弟子、駒杵勤治こまきねんじが設計し、東京駅に先立つこと10年の明治37年(1904年)に完成しました。威風堂々たる外観の洋風講堂で、天井の作りなどに丸の内駅舎との共通点が見られます。
- ・講堂は、普通教室とは異なる学校における晴れの場として、外観内装ともにそれにふさわしい重厚な作りとなっており、本校資料館は旧制中学の講堂として全国的に類例の少ない貴重な遺構です。

2 完成以来本校の歴史を見守ってきたシンボル

- ・平成2年、講堂は卒業生から寄せられた貴重な品々等を展示する資料館として整備されました。平成23年3月の東日本大震災を機に展示内容を改め、「資料館が見守った青春—太田一高110年の歴史」として、明治・大正・昭和・平成の学生生活の様子を知ることができるものとなっています。
- ・昨年度末より、新たに「戦後を支えた旧制太田中の4人」を紹介しています。

3 一般公開にともない、本校所蔵の貴重な美術品を公開

- ・日本美術院の中心として活躍した日本画の巨匠・横山大観をはじめ、山縣有朋、小川芋銭らの作品を展示します。

日時 令和8年10月17日(土)
午前10時～午後3時30分

場所 太田一高資料館(旧茨城県立太田中学校講堂)
常陸太田市栄町58 Tel 0294(72)2115

*以下の催し物を予定しています。

◆本校吹奏楽部コンサート 11:00～11:30

◆本校弁論部スピーチ 13:50～14:10

◆チェロとピアノ de 秋のやさしいコンサート

①13:00～13:30 ②14:30～15:00

◇本校図書委員・探究委員による活動紹介展示(別会場:特別棟1階・図書室)